

[資料]

本学一般入学試験受験者の概要

石井 康子¹⁾ 小野 幸子²⁾ 松山 洋子³⁾
服部 律子¹⁾ 八木 彌生³⁾

The Overview of Examinees in the General Entrance Examination
at Gifu College of Nursing

Yasuko Ishii¹⁾, Sachiko Ono²⁾, Yohko Matsuyama³⁾,
Ritsuko Hattori¹⁾, and Yayoi Yagi³⁾

はじめに

岐阜県立看護大学は平成12年4月に開学し、平成13年度入学試験から定員80名のうち、特別選抜（推薦入学試験）の15名を除く65名について、前期50名、後期15名を一般入学試験で選抜している。本学は4年目を迎えた開学間もない新設大学であることから、受験者の確保に向け、初年度から広報委員会を中心に、県内の高等学校に教員が出向いて説明会を行う等の独自の広報活動に力を入れてきている。その結果、平成13年度および14年度の一般入学試験の受験者数は、各々727名、730名であり、多くの受験者を集めてきた。これらの活動を評価するため、入学生に対しては広報委員会が本学の志望動機や、受験に際して有効であった情報等を含む質問紙調査を実施してきたが、受験者を対象とした調査は実施していなかった。そこで入試委員会では、本学一般入学試験受験者の概要と今後の学生募集に向けた課題を明らかにする上での基礎資料を得るため、受験理由や受験の決定に有効であった情報と、その入手方法等の調査を実施することとした。

． 目的

本学一般入学試験受験者を対象に、受験理由、受験決定に至った情報の入手方法等その概要を明らかにし、今後の学生募集に向けた課題を検討する。

． 方法

1. 対象

平成14年度、15年度本学一般入学試験（前期、後期試験）の全受験者とした。

2. 方法および倫理的配慮

前期試験は全ての試験、後期試験においては小論文試験の終了後に質問紙調査を実施した。各検査室において試験監督者が調査協力を依頼し、無記名の調査用紙を配布した。協力が得られる場合は、設置した回収箱に回答した調査用紙を投入し退出するよう説明し、受験者が調査への自由な参加と回答ができるよう配慮した。

なお、調査実施前に目的の説明と共に、協力の有無および記載内容は受験結果に影響しないことを口頭で説明し、さらにこの説明内容を調査用紙に明記した。

3. 調査項目

- 1) 出身県（高等学校所在地）
- 2) 募集要項入手前の本学情報の入手方法：1. 大学案内、2. オープンキャンパス、3. ホームページ、4. 本学教員の高校出張説明会、5. 新聞の大学案内、6. 受験雑誌の本学紹介、7. 岐阜県広報、8. その他、の8項目を設定した。
- 3) 入手した情報の中で最も役立ったもの：上記2)の項目を設定した。
- 4) 本学の受験理由：1. 教育内容に特徴がある、2. 新設だから、3. 施設・設備がよい、4. 交通の便が

1) 岐阜県立看護大学 育成期看護学講座 Nursing of Children and Child Rearing Families, Gifu College of Nursing
2) 岐阜県立看護大学 成熟期看護学講座 Nursing of Adults, Gifu college of Nursing
3) 岐阜県立看護大学 地域基礎看護学講座 Community-based Fundamental Nursing, Gifu College of Nursing

よい, 5. 自分の能力に適している, 6. センター試験が5教科5科目で, 各教科の選択科目が多い, 7. 個別学力検査の科目, 8. 希望の資格が取れる, 9. 薦められた, 10. 就職に有利, 11. その他, の11項目を設定した. 項目8, 9については, 具体的内容の問いも設定した.

5) 本学以外に受験した学校等: 1. 他の看護大学または看護学科 (以下, 「看護系大学」とする), 2. 看護系短大・専門学校, 3. 看護以外の学部・学科, 4. センター試験利用大学, 5. センター試験未利用大学等, 6. どこも受けていない, の6項目を設定した.

4. 分析方法

前期, 後期試験毎に, 各々年度に分けて結果を示した. また, 受験者の出身県を岐阜県, 愛知県, その他に分けて分析した.

結果

前期試験の受験者数は, 平成14年度441名, 15年度239名, 後期試験では平成14年度289名, 平成15年度155名であり, 平成15年度の受験者数は, 前年, 前々年度に比べ減少した. 調査票の配布, 回収数, 回収率は表1に示した.

表2 本学の情報収集方法

		出身県	大学案内	オープン キャンパス	ホーム ページ	本学出張 説明会	新聞 大学案内	受験雑誌*	県広報	その他
前期	平成14年度	岐阜県	106 (92.2)	46 (40.0)	76 (66.1)	27 (23.5)	26 (22.6)	85 (73.9)	28 (24.3)	11 (9.6)
		愛知県	130 (87.8)	20 (13.5)	69 (46.6)	3 (2.0)	14 (9.5)	111 (75.0)	0 (0.0)	7 (4.7)
		その他	139 (78.5)	6 (3.4)	126 (71.2)	0 (0.0)	4 (2.3)	106 (59.9)	1 (0.6)	9 (5.1)
		計	375 (85.2)	72 (16.4)	271 (61.6)	30 (6.8)	44 (10.0)	302 (68.6)	29 (6.6)	27 (6.1)
	平成15年度	岐阜県	90 (91.8)	43 (43.9)	76 (77.6)	28 (28.6)	21 (21.4)	69 (70.4)	15 (15.3)	12 (12.2)
		愛知県	83 (90.2)	16 (17.4)	61 (66.3)	6 (6.5)	7 (7.6)	66 (71.7)	0 (0.0)	10 (10.9)
		その他	39 (81.3)	0 (0.0)	37 (77.1)	0 (0.0)	1 (2.1)	29 (60.4)	0 (0.0)	6 (12.5)
		計	212 (89.1)	59 (24.8)	174 (73.1)	34 (14.3)	29 (12.2)	164 (68.9)	15 (6.3)	28 (11.8)
後期	平成14年度	岐阜県	72 (90.0)	28 (35.0)	52 (65.0)	17 (21.3)	19 (23.8)	51 (63.8)	22 (27.5)	5 (6.3)
		愛知県	97 (90.7)	11 (10.3)	60 (56.1)	2 (1.9)	7 (6.5)	65 (60.7)	7 (6.5)	2 (1.9)
		その他	79 (79.8)	4 (4.0)	76 (76.8)	0 (0.0)	2 (2.0)	63 (63.6)	2 (2.0)	9 (9.1)
		計	248 (86.7)	43 (15.0)	188 (65.7)	19 (6.6)	28 (9.8)	179 (62.6)	31 (10.8)	16 (5.6)
	平成15年度	岐阜県	57 (98.3)	29 (50.0)	48 (82.8)	21 (36.2)	10 (17.2)	43 (74.1)	7 (12.1)	4 (6.9)
		愛知県	60 (98.8)	9 (14.1)	48 (75.0)	2 (3.1)	3 (4.7)	38 (59.4)	1 (1.6)	8 (12.5)
		その他	29 (93.5)	0 (0.0)	26 (83.9)	0 (0.0)	1 (3.2)	26 (83.9)	1 (3.2)	0 (0.0)
		計	146 (95.4)	38 (24.8)	122 (79.7)	23 (15.0)	14 (9.2)	107 (69.9)	9 (5.9)	12 (7.8)

* : 受験雑誌は, 無料掲載広告のみ利用

表1 調査対象及び出身県別受験者数

		前期試験		後期試験	
		平成14年度	平成15年度	平成14年度	平成15年度
配布数		441	239	289	155
回収数 (回収率%)		440 (99.8)	238 (99.6)	286 (99.0)	153 (98.7)
出身県	岐阜県	115 (26.1)	98 (41.2)	80 (28.0)	58 (38.9)
	愛知県	148 (33.6)	92 (38.7)	107 (37.4)	64 (41.8)
	その他	177 (40.3)	48 (26.1)	99 (34.6)	31 (20.3)

* 出身県の%は, 回収数に対する割合を示す

1. 出身県別受験者数

表1に示すとおり, 岐阜県出身の受験者は, 前期試験では平成14年度は115名 (26.1%), 平成15年度は98人 (41.2%), 後期試験は平成14年度80名 (28.0%), 平成15年度は58名 (38.9%) であり, 前期, 後期試験とも, 全受験者に占める割合は増加した. 県外では隣接する愛知県からの受験者が最も多く, 前期, 後期試験とも平成14年度と比べ, 平成15年度は愛知県出身の受験者の全受験者に占める割合が増加し, 反対に岐阜県, 愛知県以外からの受験者は大幅に減少していた.

2. 本学の情報入手方法

募集要項の入手前に受験者が本学を知るために活用した方法は, 表2に示すとおりであった. 前期試験の受験者が最も多く回答した項目は, 平成14年度では大学案内

375件 (85.2% : 全回収数に対する回答者の割合を示す, 以下同様.), 次いで, 受験雑誌302件 (68.6%), ホームページ271件 (61.6%) であった. 平成15年度も上位の3項目は同様であったが, 大学案内, ホームページ, 受験雑誌の順であった. 後期試験の受験者も, 平成14年度, 15年度とも上位3項目は同様であった.

出身県別にみると, いずれも上位3項目は同様であったが, 岐阜県出身の受験者はオープンキャンパスの活用が多かった. 調査項目の内, 本学教員の高校出張説明会と, 県広報は岐阜県のみが対象であるが, 高校出張説明会を活用したと回答したのは, 前期試験では平成14年度27件 (23.5%), 平成15年度28件 (28.6%), 後期試験では平成14年度17件 (21.3%), 平成15年度21件 (36.2%) であった. 県広報は, 前期試験では平成14年度28件 (24.3%), 平成15年度15件 (15.3%), 後期試験は平成14年度22件 (27.5%), 平成15年度7件 (12.1%) であった.

また, その他の項目では平成15年度の全受験者40件の内訳は, 先輩から16件, 大学祭・見学に来た7件, 塾5件, 先生から5件, 高校資料3件, 親・親戚から2件, 友人から1件, その他の資料1件であり, 特に先輩という回答は岐阜県出身の受験者が11件を占めていた.

3. 最も役立った本学の情報収集方法

前期試験の受験者が本学を知るために活用した方法の内, 最も役立った方法を回答したのは, 平成14年度は153名であり, 表3に示すとおり大学案内, ホームページ, 受験雑誌, オープンキャンパスの順であった. 平成15年度では103名から回答があり, ホームページ, 大学案内, オープンキャンパスの順であった. 後期試験では平成14年度は93名から, 平成15年度は60名から回答があり, いずれも大学案内, ホームページ, オープンキャンパス, 受験雑誌の順であった.

出身県別にみると, いずれの出身者も本学が独自に作成している大学案内, ホームページ, オープンキャンパス等の情報が役立つと評価していた.

4. 本学の受験理由

1) 受験理由

本学受験者の受験理由は表4に示すとおり, 前期, 後期試験の平成14年度, 15年度のいずれにおいても希望の資格が取れる, 施設・設備がよい, 教育内容に特徴があるの順であった.

出身県別にみると, 岐阜県出身の受験者ではいずれの試験においても教育内容に特徴があること, また, 就職に有利であることを理由にあげる受験者が他の地域から

表3 最も役立った情報収集方法

		出身県	大学案内	オープン キャンパス	ホーム ページ	本学出張 説明会	新聞 大学案内	受験雑誌*	県広報	その他
前期	平成14年度	岐阜県	11 (33.3)	10 (30.3)	8 (24.2)	8 (24.2)	1 (3.0)	2 (6.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
		愛知県	23 (46.0)	7 (14.0)	9 (18.0)	1 (2.0)	0 (0.0)	9 (18.0)	0 (0.0)	2 (4.0)
		その他	31 (44.3)	1 (1.4)	33 (47.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (20.0)	0 (0.0)	1 (1.4)
		計	65 (42.5)	18 (11.8)	50 (32.7)	9 (5.9)	1 (0.7)	25 (16.3)	0 (0.0)	3 (2.0)
	平成15年度	岐阜県	9 (24.3)	9 (24.3)	11 (29.7)	5 (13.5)	0 (0.0)	1 (2.7)	0 (0.0)	2 (5.4)
		愛知県	19 (43.2)	7 (15.9)	12 (27.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (9.1)	0 (0.0)	2 (4.5)
		その他	6 (27.3)	0 (0.0)	15 (68.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.5)
		計	34 (33.0)	16 (15.5)	38 (36.9)	5 (4.9)	0 (0.0)	5 (4.9)	0 (0.0)	5 (4.9)
後期	平成14年度	岐阜県	6 (28.6)	7 (33.3)	3 (14.3)	3 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (9.5)
		愛知県	16 (43.2)	6 (16.2)	9 (24.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (13.5)	0 (0.0)	1 (2.7)
		その他	18 (51.4)	0 (0.0)	11 (31.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (8.6)	0 (0.0)	4 (11.4)
		計	40 (43.0)	13 (14.0)	23 (24.7)	3 (3.2)	0 (0.0)	8 (8.6)	0 (0.0)	7 (7.5)
	平成15年度	岐阜県	6 (40.0)	2 (13.3)	3 (20.0)	1 (6.7)	0 (0.0)	3 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
		愛知県	12 (38.7)	5 (16.1)	9 (29.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (12.9)	1 (3.2)	0 (0.0)
		その他	9 (64.3)	0 (0.0)	5 (35.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
		計	27 (45.0)	7 (11.7)	17 (28.3)	1 (1.7)	0 (0.0)	7 (11.7)	1 (1.7)	0 (0.0)

* : 受験雑誌は, 無料掲載広告のみ利用

表4 受験理由

		出身県	教育内容 に特徴が ある	新設 だから	施設・設 備がよい	交通の 便がよい	自分の 能力に適 している	5教科 5科目で 各教科の 選択科目 が多い	個別 学力検査 の科目	希望の 資格が とれる	薦め られた	就職に 有利	その他
前期	平成 14年度	岐阜県	62 (53.9)	33 (28.7)	87 (75.7)	29 (25.2)	35 (30.4)	19 (16.5)	16 (13.9)	108 (93.9)	16 (13.9)	19 (16.5)	6 (5.2)
		愛知県	53 (35.8)	53 (35.8)	105 (70.9)	28 (18.9)	51 (34.5)	33 (22.3)	11 (7.4)	135 (91.2)	51 (34.5)	16 (10.8)	8 (5.4)
		その他	61 (34.5)	49 (27.7)	111 (62.7)	29 (16.4)	73 (41.2)	60 (33.9)	20 (11.3)	162 (91.5)	59 (33.3)	7 (4.0)	3 (1.7)
		計	176 (40.0)	135 (30.7)	303 (68.9)	86 (19.5)	159 (36.1)	112 (25.5)	47 (10.7)	405 (92.0)	126 (28.6)	42 (9.5)	17 (3.9)
	平成 15年度	岐阜県	51 (52.0)	26 (26.5)	71 (72.4)	23 (23.5)	23 (23.5)	29 (29.6)	4 (4.1)	94 (95.9)	15 (15.3)	13 (13.3)	3 (3.1)
		愛知県	34 (37.0)	28 (30.4)	67 (72.8)	27 (29.3)	25 (27.2)	28 (30.4)	6 (6.5)	84 (91.3)	17 (18.5)	8 (8.7)	4 (4.3)
		その他	18 (37.5)	12 (25.0)	29 (60.4)	9 (18.8)	14 (29.2)	12 (25.0)	0 (0.0)	46 (95.8)	15 (31.3)	3 (6.3)	0 (0.0)
		計	103 (43.3)	66 (27.7)	167 (70.2)	59 (24.8)	62 (26.1)	69 (29.0)	10 (4.2)	224 (94.1)	47 (19.7)	24 (10.1)	7 (2.9)
後期	平成 14年度	岐阜県	44 (55.0)	24 (30.0)	61 (76.3)	20 (25.0)	23 (28.8)	14 (17.5)	3 (3.8)	72 (90.0)	22 (27.5)	9 (11.3)	3 (3.8)
		愛知県	35 (32.7)	46 (43.0)	78 (72.9)	32 (29.9)	39 (36.4)	24 (22.4)	9 (8.4)	98 (91.6)	28 (26.2)	8 (7.5)	1 (0.9)
		その他	46 (46.5)	33 (33.3)	58 (58.6)	17 (17.2)	28 (28.3)	21 (21.2)	5 (5.1)	92 (92.9)	37 (37.4)	5 (5.1)	1 (1.0)
		計	125 (43.7)	103 (36.0)	197 (68.9)	69 (24.1)	90 (31.5)	59 (20.6)	17 (5.9)	262 (91.6)	87 (30.4)	22 (7.7)	5 (1.7)
	平成 15年度	岐阜県	32 (55.2)	24 (41.4)	51 (87.9)	19 (32.8)	14 (24.1)	13 (22.4)	4 (6.9)	56 (96.6)	10 (17.2)	9 (15.5)	0 (0.0)
		愛知県	31 (48.4)	27 (42.2)	49 (76.6)	17 (26.6)	19 (29.7)	14 (21.9)	8 (12.5)	58 (90.6)	19 (29.7)	6 (9.4)	3 (4.7)
		その他	17 (54.8)	8 (25.8)	22 (71.0)	12 (38.7)	9 (29.0)	8 (25.8)	2 (6.5)	27 (87.1)	8 (25.8)	2 (6.5)	1 (3.2)
		計	80 (52.3)	59 (38.6)	122 (79.7)	48 (31.4)	42 (27.5)	35 (22.9)	14 (9.2)	141 (92.2)	37 (24.2)	17 (11.1)	4 (2.6)

の受験者に比べ多かった。愛知県出身の受験者は、新設大学であること、交通の便が良いこと、自分の能力に適していることをあげた受験生が多く、その他の県出身の受験者は、薦められたことを理由にあげた者が岐阜県、愛知県出身の受験者に比べて多い傾向にあった。

2) 取得希望の資格

前期、後期試験の平成14年度、15年度とも受験理由の1位であった「希望する資格が取れる」について、平成14年度の前期試験は、具体的な資格の記載があった114名中看護師は86件(75.4%：記載ありに対する割合を示す、以下同様)、養護教諭一種47件(41.2%)、保健師41件(36.0%)、助産師32件(28.1%)であり、平成15年度は55名中、看護師が42件(76.4%)で最も多く、次いで助産師、養護教諭一種が各々17件(30.9%)、保健師12件(21.8%)であった。平成14年度の後期試験では、記載のあった82名中看護師59件(72.0%)、養護教諭一種29件(35.4%)、保健師27件(32.9%)、助産師22件(26.8%)であった。平成15年度では記載のあった38名中看護師が32件(84.2%)、助産師18件(47.4%)、保健師11件(28.9%)、養護教諭一種8件(21.1%)であった。

出身県別にみると、平成14年度の前記試験では、看護

師の資格取得希望に次いで岐阜県、愛知県出身の受験者は保健師の資格取得を希望し、その他の県出身の受験者では養護教諭一種の資格取得を希望していた。平成15年度では、岐阜県出身の受験者は看護師に次いで助産師を、愛知県出身の受験者では養護教諭一種を、その他の県出身の受験者では助産師の資格取得を希望していた。後期試験では、前期試験と同様に看護師の資格取得希望が最も多いが、平成14年度の岐阜県出身の受験者では看護師に次いで助産師の希望が多く、愛知県出身の受験者では保健師、その他の県出身の受験者は養護教諭一種の資格取得希望が多かった。平成15年度では、岐阜県出身の受験者は平成14年度と同様の傾向を示し、愛知県、その他の県出身の受験者とも、看護師に次いで助産師の資格取得を希望していた。

3) 本学を薦めた人

受験理由に本学を薦められたと回答した者のうち、平成14年度前期試験で具体的に薦めた人を回答した81名中、高校の先生は65件(80.2%：回答者に占める割合を示す、以下同様。)、親14件(17.3%)、塾6件(7.4%)、先輩5件(6.2%)であり、平成15年度では24名が回答し、高校の先生11件(45.8%)、親8件(33.3%)、塾、先輩が各々

4件 (16.7%)であった。平成14年度後期試験では55名が回答し、高校の先生が42件 (76.4%)、親7件 (12.7%)であり、平成15年度では19名が回答し、高校の先生が11件 (57.9%)、親9件 (47.4%)、塾5件 (26.3%)であった。

出身県別にみると、いずれの試験においても岐阜県出身の受験者では親の薦めが多く、愛知県出身の受験者では先生、親の薦めが多く、その他の県出身の受験者では先生や塾の薦めが多い傾向があった。

5. 本学受験者の併願校等

前期試験の平成14年度受験者のうち、本学以外に受験した学校等で最も多かったのは、看護系短期大学・専門学校321件 (73.0%)、次いで他の看護系大学151件 (34.3%)であった。平成15年度も同様の傾向を示したが、他の看護系大学が96件 (40.3%)で若干増加傾向にあった。後期試験では、平成14年度、15年度とも、前期試験と同様の傾向であった。

これを受験生毎にみると、表5に示すとおり前期試験の平成14年度では併願校の記載のあった428名中、看護系短期大学・専門学校のみを受験した者が200名と最も多く、他の看護系大学と看護系短期大学・専門学校の受験、看護以外の学部・学科のみ受験、他の看護系大学の

み受験の順であった。平成15年度で併願校の記載のあった237名も、ほぼ同様の傾向を示していた。後期試験でも、平成14年度に併願校の記載のあった278名中、看護系短期大学・専門学校のみを受験した者が最も多く、次に他の看護系大学と看護系短期大学・専門学校の受験、他の看護系大学のみ受験、看護以外の学部・学科のみ受験の順であり、前期試験に比して、本学以外に他の看護系大学のみを受験者が多い傾向を示した。平成15年度で併願校の記載のあった152名についても、同様の傾向であった。また、他受験なしや、他の看護系大学、看護系短期大学・専門学校等の看護系の学校のみを受験した者の割合は、いずれの試験も8割を超え、平成14年度より平成15年度はその割合は増加した。

出身県別にみると、岐阜県出身の受験者では全ての試験において、看護系短期大学・専門学校のみを受験した者が最も多いが、平成15年度は平成14年度に比して前期、後期試験とも他の看護系大学と看護系短期大学・専門学校を受験する者の割合が増加傾向にあった。その他の県出身の受験者では、いずれの試験においても他の看護系大学のみを受験した者の占める割合が、岐阜県、愛知県出身の受験者に比べ高かった。

表5 併願校

		出身県	看護系の学校のみ					看護系以外の大学のみ	看護系短大・専門学校+看護系以外の大学	他の看護系大学+看護系以外の大学	他の看護系大学+看護系短大・専門学校+看護系以外の大学	計
			看護系短大・専門学校のみ	他の看護系大学+看護系短大・専門学校	他の看護系大学のみ	他受験なし	小計					
前期	平成14年度	岐阜県	58 (51.3)	20 (17.7)	7 (6.2)	5 (4.4)	90 (79.6)	16 (14.2)	4 (3.5)	1 (0.9)	2 (1.8)	113 (100.0)
		愛知県	64 (44.1)	40 (27.6)	7 (4.8)	5 (3.4)	116 (80.0)	13 (9.0)	9 (6.2)	5 (3.4)	2 (1.4)	145 (100.0)
		その他	78 (45.9)	40 (23.5)	23 (13.5)	10 (5.9)	151 (88.8)	12 (7.1)	3 (1.8)	3 (1.8)	1 (0.6)	170 (100.0)
		計	200 (46.7)	100 (23.4)	37 (8.6)	20 (4.7)	357 (83.4)	41 (9.6)	16 (3.7)	9 (2.1)	5 (1.2)	428 (100.0)
	平成15年度	岐阜県	45 (46.9)	26 (27.1)	8 (8.3)	3 (3.1)	82 (85.4)	5 (5.2)	7 (7.3)	2 (2.1)	0 (0.0)	96 (100.0)
		愛知県	37 (40.2)	32 (34.8)	5 (5.4)	4 (4.3)	79 (85.9)	7 (7.6)	4 (4.3)	3 (3.3)	0 (0.0)	92 (100.0)
		その他	20 (42.6)	9 (19.1)	8 (17.0)	3 (6.4)	40 (85.1)	3 (6.4)	0 (0.0)	4 (8.5)	0 (0.0)	47 (100.0)
		計	104 (43.9)	67 (28.3)	21 (8.9)	10 (4.2)	202 (85.2)	15 (6.3)	11 (4.6)	9 (3.8)	0 (0.0)	237 (100.0)
後期	平成14年度	岐阜県	33 (41.8)	20 (25.3)	8 (10.1)	4 (5.1)	65 (82.3)	9 (11.4)	0 (0.0)	2 (2.5)	3 (3.8)	79 (100.0)
		愛知県	36 (35.3)	31 (30.4)	8 (7.8)	3 (2.9)	78 (76.5)	10 (9.8)	8 (7.8)	3 (2.9)	3 (2.9)	102 (100.0)
		その他	23 (23.7)	33 (34.0)	19 (19.6)	6 (6.2)	81 (83.5)	5 (5.2)	3 (3.1)	4 (4.1)	4 (4.1)	97 (100.0)
		計	92 (33.1)	84 (30.2)	35 (12.6)	13 (4.7)	224 (80.6)	24 (8.6)	11 (4.0)	9 (3.2)	10 (3.6)	278 (100.0)
	平成15年度	岐阜県	25 (43.9)	20 (35.1)	4 (7.0)	2 (3.5)	51 (89.5)	1 (1.8)	3 (5.3)	0 (0.0)	2 (3.5)	57 (100.0)
		愛知県	19 (29.7)	21 (32.8)	6 (9.4)	4 (6.3)	50 (78.1)	5 (7.8)	3 (4.7)	6 (9.4)	0 (0.0)	64 (100.0)
		その他	8 (25.8)	5 (16.1)	9 (29.0)	2 (6.5)	24 (77.4)	2 (6.5)	0 (0.0)	4 (12.9)	1 (3.2)	31 (100.0)
		計	52 (34.2)	46 (30.3)	19 (12.5)	8 (5.3)	125 (82.2)	8 (5.3)	6 (3.9)	10 (6.6)	3 (2.0)	152 (100.0)

まとめ

1. 本学受験者の概要

1) 受験者の出身地

本学の受験者は、平成14年度730名から平成15年度は394名と大幅に減少したが、岐阜県出身の受験者は195名から156名の減少にとどまり、全受験者に占める割合は逆に増加した。このことは、本学が県内の受験者に周知され、県立大学としての使命に向かうものと評価できる。

2) 本学の情報入手方法

情報入手の方法では、試験の種別、実施年度、受験者の出身県にかかわらず、大学案内、ホームページ、受験雑誌を多く活用していた。また最も役立った方法は、ホームページ、大学案内、オープンキャンパス、受験雑誌があげられ、特に岐阜県出身の受験者では、オープンキャンパスや高校への出張説明会への参加や、先輩から情報を入手したと回答した者が他県出身の受験者に比べて多く、人を介した情報伝達が有効に働いていた。本学広報委員会では、同様の調査を入学者を対象に実施しているが、受験者を対象とした本調査結果は、これと同様の傾向を示していた。

3) 受験理由

今回調査対象とした全ての試験において、希望の資格が取れること、施設・設備が良い、教育内容に特徴があることを本学の受験理由としてあげていた。また、薦められたことを理由にあげた者では、高校の先生の薦めが最も多かった。岐阜県出身の受験者は、教育内容に特徴があることを理由にあげた者が他県の出身の受験者に比べて多く、本学の教育内容を理解した上で受験を決めていることが伺えた。また、就職に有利であるという回答が多かったことも特徴としてあげられる。

4) 受験者の志向

本学以外に受験した学校は、全受験者の8割以上が看護を学修する学校のみをあげており、本学の一般入学試験では、看護学を学ぶという目的を明確にもった受験者が得られていた。

2. 学生募集に向けた課題

1) 大学独自の広報媒体の充実

情報入手の方法として最もよく活用され、かつ有効と判断されている大学案内、ホームページの充実を図ることが重要と考える。多くの看護大学が開学する中、本学

の教育内容の特徴を理解した上で受験が決定できるよう、これらの特徴の意味を含めて、高校生や高校の教員にわかりやすく伝えていくことが必要と考える。特に、高校教員の薦めにより本学の受験を決定した受験者も多く、高校の教員に看護学への理解とともに、本学の教育への理解を得ていくことは重要と考える。その意味からも、開学直後から独自の広報活動として全教員で実施している出張式の高校説明会は重要な活動と考える。

さらに、本学は今年完成年度を迎えた大学であるため、卒業生はまだ出ていない。しかし受験者にとって、就職状況は進学先の選択の上で大きな要素となると考えられる。今後は就職状況を公表し、卒業後の生活も視野に入れた進路選択ができるよう情報提供を行う必要があると考える。

2) 本学の理解を深めるための活動

本学の理解を深めるための活動として、先に述べた高校教員や受験者を対象にその理解を深めるとともに、大学の日頃の教育研究活動を通して、以下の活動が有効と考えられる。

今回の調査から、本学の受験者は看護学を学ぶという目的をもった者が得られていることが確認できた。現在、小、中、高等学校では、体験学習の機会を多く設けている。進路指導においても、長期休暇中に職場体験の取り組みを行う学校が、中、高等学校で増えてきている。「看護の日」を中心に各地で実施されている「一日看護体験」の機会も、学校教育の中で進路指導の一環としても活用されている。このような機会を通して、実際の仕事に触れることで、看護の仕事を志す意思を固める学生も少なくないと思う。進路を選択しようとする学生にとって、実際に活動している看護職から、大学で学ぶことの意味が伝えられるのであれば、より強い動機付けになると考えられる。このためにも、大学教員が日頃の教育研究活動を通して、看護実践現場の看護職に、大学が行う教育への理解を得ていくことは重要であると考えられる。本学は、県内の多くの看護実践現場で学生の実習や共同研究活動を行っている。このような機会を通して、看護実践現場の看護職に、より一層大学の教育への理解を得ていくことも、看護を学ぶ強い意思をもつ学生を得るための活動のひとつであると考えられる。

(受稿日 平成16年2月9日)